

主な出来事

【内政】

- マンデラ元大統領の生誕 100 年記念集会

【外交】

- ラマポーザ大統領のサウジアラビア訪問
- ラマポーザ大統領の UAE 訪問
- 第 10 回 BRICS 首脳会合の開催

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数 (CPI)
- 2018 年第 2 四半期の失業率
- 貿易収支
- 為替レート
- 製造業
- 鉱業生産高
- 自動車販売台数

<出来事>

- パナソニック南アフリカ社の開所式
- 1 平方メートル電波干渉計望遠鏡事業の開所式
- 中国の対南アフリカ投資表明

【広報・文化】

- 第 32 期 J E T プログラム参加者の出発
- 日本体操協会選手団の 2018 サファリ国際体操大会への参加

【警備】

- スーパーマーケット等における発火装置の連続発見

1 内政

●マンデラ元大統領の生誕 100 年記念集会

17日、ネルソン・マンデラ元大統領の生誕 100 年記念集会がヨハネスブルグで開催され、1 万人以上の聴衆が参加した。ラマポーザ大統領及びオバマ前米大統領らが演説し、オバマ元大統領は祝意を述べるとともに民主主義に逆行する世界の動きに対し危機感を表した。

2 外交

●ラマポーザ大統領のサウジアラビア訪問

12日、ラマポーザ大統領はサウジアラビア訪問した。サウジアラビアは、南アに対して、新たに 100 億ドルの投資を行うことを決定した。この投資は、まず、南アのエネルギー分野の安全保障を向上させ、能力を高め、コストを削減するために使われることになっている。

●ラマポーザ大統領の UAE 訪問

13日、ラマポーザ大統領はUAEを国賓訪問した。UAEは、南アの持続可能な開発を支援するために、観光、鉱業等の重要な分野を中心に100億ドルを投資することを発表した。

●習近平中国国家主席の南ア国賓訪問

24日、BRICS首脳会合に先立ち、習近平中国国家主席は南アを国賓訪問し、二国間会談を行った。

●第10回BRICS首脳会合の開催

25～27日、ヨハネスブルグで「アフリカにおけるBRICS：第4次産業革命における包括的成長と共栄のための協力」というテーマの下、BRICS首脳会合が開催された。「ヨハネスブルグ宣言」では、世界貿易機関（WTO）に具現化されるルールに基づいた透明で非差別的でオープンで包括的な多角的貿易体制の重要性が再確認された。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数（CPI）

6月の消費者物価指数（CPI）は前月比0.2%増で4.6%となり、物価は先月から0.4%上昇した。CPIは主に家庭内製品（4.1%増）、運送費（7.3%増）、レクリエーション及び文化費（0.6%増）、レストラン及び宿泊費（4.5%増）でそれぞれ上昇した（括弧内は前年同月比のCPI）。（7月18日、南ア統計局）

●2018年第2四半期の失業率

2018年第2四半期は、前期の26.7%から27.2%に悪化。正規部門では、3万5千人の雇用が失われた。産業別では、製造業で10万5千人、自治体・社会福祉・個人事業で9万3千人、及び貿易で5万8千人が雇用を失った。他方、運輸業で5万4千人、建設業で4万5千人、及び鉱業で3万8千人の雇用が創出された。非正規部門では7万3千人、農業部門では3千人の雇用が失われた。家庭内労働者は2万2千人の雇用が創出された。また、かねてから深刻であった若者層（15～24歳）の失業率は、依然深刻ながらも0.6ポイント改善し、31.6%となった。（31日、南ア統計局）

●貿易収支

6月の貿易収支額は、予想を大幅に上回る120億ランドの黒字となり、今年の累計貿易赤字を180億ランドに縮小した。貿易収支額は4ヶ月連続で黒字を記録し、前月の黒字額35億ランドから大幅増。輸出額は前月比7.1%増で1万1015億ランド、輸入額は前月比0.9%減で9800億ランド。（31日、南ア歳入庁）

●為替レート

2018年7月31日付（南ア準備銀行）

8.4656円/ランド

13.1591ランド/米ドル

15.4311ランド/ユーロ

●製造業

南ア統計局によると、5月の製造業生産高は前年同月比2.3%増。主なプラス要因は、食品・飲料製品で5.5%増、石油・化学製品、ゴム及びプラスチック製品で3.3%増、自動車及び郵送機器関連製品では9.9%増となり、他方でラジオ、テレビ、通信関連製品で11.3%減。季節調整後生産高は、前月比1.5%増。過去3ヶ月（3月～5月）の季節調整後生産高は、前の3ヶ月間に比べて1.5%減。主な要因は、製造業10部門中9部門での生産減で、特に石油・化学製品、ゴム及びプラスチック製品で3.2%減となり、唯一、食品・飲料製品で1.5%生産増。

● 鉱業生産高

南ア統計局によると、5月の鉱業生産高は前月比2.6%減。最大のマイナス要因は、金で16.2%減（8ヶ月連続の減少）、石炭で4.2%減、及びマンガン鉱石で23.0%減。他方、PGMsは9.6%生産増を記録。金は、季節調整後生産高は、前月比2.6%減となり、過去3ヶ月間（3月～5月）では前の3ヶ月に比べて2.6%減。12の鉱業分野のうち、8分野での生産減となり、特に鉄鉱石で10.3%減。

● 自動車販売台数

南ア自動車工業界（NAAMSA）は、7月の自動車販売台数を発表し、前年同月比2.6%増の47,881台を記録。全体の販売台数のうち、ディーラー販売が80.8%、次いでレンタカー業界が14.0%を占めた。新車販売は前同月比4.3%増で32,108台となり、特にレンタカー業界での販売が前年同月比18.8%増。

業界全体としては、輸出台数が前年同月比19.2%と飛躍的に伸び28,063台。国内販売台数では大型トラックや中型商用車の販売がそれぞれ15.9%と6.7%増加したものの、他車種では伸び悩んだ。

< 出来事 >

● パナソニック南アフリカ社の開所式

パナソニック南アフリカ社は、本社をヨハネスブルグからケープタウンへ移転したことに伴い、12日に同地にて開所式をおこなった。新たな本社には、商品展示のショールームや商品体験等を行う「Life and Experience」スペースを設置。同式典では、南アフリカのラグビーチーム、スプリングボックスのスイヤ・コリスィ主将がブランド・アンバサダーとして就任した。また、パナソニックが実施している”You can be the light “プロジェクトの一環として、昨年から南ア、レスト及びエスワティニ（旧：スワジランド）の電化率が低い地域へのソーラーランタンを2000台寄贈してきたが、今年は新たに414台寄贈することを発表した。

● 1平方メートル電波干渉計望遠鏡事業の開所式

13日、西ケープ州郊外にて、Square Kilometre Array（1平方メートル電波干渉計）望遠鏡事業（以下SKA）の開所式が行われた。SKAは世界最大規模の高性能望遠鏡を建設し、宇宙の謎の解明を目指す国際プロジェクトとして、90年代から構想され、現在、南アを含む11カ国が参加している。望遠鏡の建設場所として選定された西ケープ州カルーにて、South Africa Radio Astronomy Observatory (SARAO)は、開発した電波望遠鏡（名称：MeerKAT）64機を披露。本望遠鏡は、SKA完成のための前駆体として披露され、開所式には南アのマブーサ副大統領などが出席。

● 中国等の対南アフリカ投資表明

24日、ラマポーザ大統領は、BRICS首脳会合に出席した習近平国家主席との首脳会合後、中国から147億ドルの投資受け入れを行うことを表明。投資を受ける分野は、インフラ開発、海洋、科学技術、農業、環境、金融などの14分野だが、詳細についてはまだ公表されていない。南アフリカへの投資は、先月の独メルセデスに続いて、今月はサウジアラビア及びUAEが相次いで100億ドルの新規投資を表明。ラマポーザ大統領が目標に掲げている、今後5年間で1000億ドルの投資促進に向け大幅に前進している。

4. 広報・文化

● 第32期JETプログラム参加者の出発

27日（金）、28日（土）に日本へ向け出発する第32期JETプログラム参加者に対する出発前オリエンテーションが当館多目的ホールにおいて実施された。出発を翌日に控えるJET参加者に対し、プログラム全般に係る説明及び質疑応答が行われた。なお、全参加

者が一堂に会する機会は本日が初めてであった。

オリエンテーション終了後、大使公邸において開催された歓送レセプションでは、参加者に対して、廣木大使より祝辞が述べられ、プログラム参加者代表から答辞が述べられた。その後、JET参加者及び元JET等との間で活発な情報交換が行われた。また、南アJET同窓会会長から激励の挨拶が述べられるとともに、同窓会会員によるプログラム参加者へ向けた合唱（今日の日はさようなら）が贈られた。

今期の南アフリカからのJETプログラム参加者は45名であり、先輩JETに続き、英語教育を通じて、日本と南アフリカとの友好関係促進に貢献することが期待される。参加者は東京における来日直後オリエンテーションを経て、それぞれの任用団体に着任する。

●日本体操協会選手団の2018 サファリ国際体操大会への参加

日本体操協会の選手団が、20日（金）及び21日（土）に当地センチュリオン体育館にて開催された2018 サファリ国際体操大会に参加し、男女とも、個人・団体総合にて金メダルを獲得。日本選手団の南アにおける国際体操大会への参加は実に50年ぶりの出来事であり、会場には多くの体操ファン及びメディア関係者が詰めかけ、その艶美かつ洗練された体操技術に魅了された。

23日（日）、日・南ア両国体操選手団は大使公邸で開催されたレセプションに参加し、体操分野における両国間の交流を図った。両国の選手達から、2020年に東京で再会することを目標に、今後とも体操分野における交流を継続していきたいという希望が表明された。なお、日本体操協会は、南ア体操協会と交換プログラムに基づく協力関係にあり、南アフリカの体操選手が2020年の東京オリンピック・パラリンピックへ出場権を得られるよう、体操スキル向上へ向けた各種支援を提供する立場にある。

5 警備

●スーパーマーケット等における発火装置の連続発見

クワズールナタール州において、ウールワースを始めとするスーパーマーケット等に爆発物の形をした発火装置が設置され、一部商品を焼損し、客が避難する事件が発生した。発火装置は塩ビ管に携帯電話が付けられたものであるが、爆発して人を死傷させる威力のある構造ではなかった。

発火装置の設置は7月に入り複数件確認されており、発火以前に発見されたものもあった。発火装置を設置されたウールワース等からは、警備を強化しているとの発表があったものの、事件の背景等について詳細な発表はなされていない。

これに呼応するようにクワズールナタール州や西ケープ州において、複数の爆破予告事件も発生し、ショッピングモール等から客が避難する騒ぎが起きた。これらの現場からは爆発物や発火装置は発見されていない。